

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	246-2104
事務事業名	4277 学校給食センター施設整備事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費										
	事業	030000 学校給食センター施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。						現在の衛生基準にあった備品を、新たなセンターでも使用可能なものを中心に更新する。 昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
新センター建設候補地の地形測量とボーリング調査1箇所実施。 ボイラー貯湯槽の修繕、備品購入（コンテナ1台、パンラック等）を実施。	新センター建設に向けPFIの可能性調査・測量・地質調査・補償調査を実施。 備品購入（調理場棚1台、冷蔵ショーケース1台、フードスライサー1台、コンテナ1台）を実施。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
新センター建設に向けPFIアドバイサリー業務の委託を予定。立木等の補償、用地購入を予定。造成・上下水道の設計を予定。調理場で使用している備品等の更新を予定。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	新センター建設進捗状況：地質調査				
算式	実施した調査費用の総額÷必要な調査の総額×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	100	0	0	0
	実績	100			
指標選定の理由	PFI事業以外で算出。地質調査費用（H27年度実施 地質調査1,393,200円+H28年度実施 2,181,600円）必要な調査の総額 3,574,800円。				
最終年度目標の根拠	建設のための調査等の完了を100%とする。				
指標名	新センター建設進捗状況：測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等				
算式	実施した調査費用の総額÷必要な調査の総額×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	33	93		
	実績	33			
指標選定の理由	PFI事業以外で算出。測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等（H27年度実施 測量・土地価格調査 984,960円+H28年度実施 1494720円+H29年度予定4,500,000円+H30年度予定 500,000円）				
最終年度目標の根拠	建設のための調査等の完了を100%とする。				
指標名					
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		10,093	20,687
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	5,000
一般財源		10,093	15,687
人員数(人)	正規職員	0.3	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,165.7	2,887.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,165.7	2,887.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.5
総額		12,258.7	23,574.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	8,578	調査等委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,515	備品購入費ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,250	整備運営事業者選定審査委員
11節 需用費	0	
13節 委託費	19,000	調査等委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	437	備品購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	現センターの老朽化に伴い、新センターの建設が求められている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	PFI手法による導入を検討した	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	PFI導入可能性調査を行い、一定のコストの削減が図れることが判った	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新センター建設に向け本格着手ができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
平成32年度稼働開始に向け、より良い施設となるよう十分検討しながら事業を進めていく		老朽化した現行給食センターに替えて、時代のニーズに合致した新学校給食センターの建設と安定的稼働は、安心・安全な学校給食の継続のためにどうしても必要と認識している。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	